

会報

やまばと

(第61号)

発行
社会福祉法人 浄泉会
やまばと学園
秦野市渋沢2620-2
TEL 0463 (87) 1188

発行者 西田精吾
編集責任者 西田精吾

印刷(有)タイム21

新年のご挨拶

社会福祉法人 浄泉会

理事長 西田 精吾

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は地元峠地区の皆様をはじめ、それぞれのグループホーム所在地の地域の皆様、各行政機関の皆様、又浄泉会と共にある家族会、後援会の皆様、又私共に関わってくださいました多くの皆様方のご支援・ご指導・ご鞭撻に対しまして深甚なる感謝と御礼を申し上げます。併せまして、本年も何卒旧年同様よろしくお願い申し上げます。

昨年「やまばと学園信条」のもと、又、ご家族の皆様のご支援のもと、十四名の利用者様がグループホーム「やまばとハウスⅠ・Ⅱ」に移行して戴いており、又女性専用のグループホーム「ピジョンハウス」へは五名の方が移行して下さいました。おかげさまで平日の昼間は、やまばと通所センターに通い、休日は地元を散策するなど、地元の皆様との交流もさせて頂きながら快適に過ごさせて頂いております。八ヶ月が過ぎ、それぞれに落ち着いて頑張っているところではあります。

平成二六年一月には、障害者権利

条約が批准されました。条約の原則の中には、自ら選択する自由、個人の自律と自立の尊重が謳われ障害者の皆様の自己決定や意思決定が重要視されています。現在の障害者総合支援法の見直しにおいても障害者の自己決定支援ということが強く伝えられています。

私達職員も、その趣旨に則り、今回も重度の利用者様ともども慎重にそのサインを読み取ると共に、ご家族様とも相談をさせて頂き、色々な機会に応じた自己決定支援への対応を積み重ねましたが、今後も継続して参ります。

平成三年四月一日に創始者である岡部忠行氏により六十名で創設された浄泉会も現在約百名となりました。今年には二十五周年を迎え経年劣化した入所施設の内部のリニューアルを家族会・後援会・職員・利用者の皆様の意向を踏まえ、行なうべく関係の方々との打ち合わせを行なっております。四人部屋の解消は国の施策上なかなかできませんが、リニューアルの中で少しでも取り入れることができればと思っております。又、今

回、新規入所された利用者様は、現在の国が対応を迫られている児童施設の重度加齢児の方が多く入所されないかと思っております。平成十八年度から社会福祉法人制度改革が行われますが、浄泉会ではすでに透明性の観点から経営指標の情報開示をはじめISOの受審、第三者評価の受審等を十年前より行なっており公益的取り組みでは、神奈川ライフサポート事業を始め、秦野市社協の公益事業である「きやつち」への参入を行なうなどの対応を行なっております。二十九年度からは、さらにガバナンスの確立、役員会（理事会評議員会）の在り方や財務規律の確立等々に対応し社会福祉法人としての存在意義をしっかりと果たして参ります。引き続きご指導・ご鞭撻の程お願い申し上げます。
結びに当たり、地域の皆様を始めご関係の皆さまの益々のご健勝、ご多幸、ご発展を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶に代えさせていただきます。

新年のご挨拶
家族会 代表 花田 由紀子

新年あけましておめでとうござい
います。

昨年は新しいグループホームの
発足に伴う異動等で、皆様におか
れましては大変な一年であったと
思います。理事長はじめ職員の方々
の多大なるご尽力・ご支援のおか
けで、利用者さん達は大きな混乱
もなく新しい環境に慣れる事がで
きたと感謝しております。

やまばと学園には驚くほどスムー
ズに馴染んでいった娘が、昨年時
折、困ったようなちよつと翳った
目をしているのに気付きました。
その事で、仲間を姉妹のように親
しく感じ、職員の方々を親のよう
に慕うまでになっていたのだと知
りました。おかげさまで今では明
るい笑顔を取り戻し、学園生活を
楽しんでおります。

やまばと学園が安心できる居場
所であり、楽しく健康に過ごせま
すよう、利用者さん各々の特性に
合った温かいご支援を今年もどう
ぞ宜しくお願い致します。

新年のご挨拶
後援会 会長 加藤 明子

新年あけましておめでとうござい
ます。

昨年は浄泉会やまばと学園後援
会に多大の御支援を戴きましてあ
りがとうございました。新しいグ
ループホーム『やまばとハウス』
『ピジョンハウス』が開所され仲
間達の中から移動して新しい生活
が始まりました。日中は通所に通
うので門に入れば同じ場であるの
で生活の場の変化にも今迄の共同
生活が生かされて落ち着いて楽し
く過ごしているようです。

やまばとのこれからを考えて行く
時に「あたりまえ」が少なくなっ
て行かないように前向きに動いて
行き建物の老朽化と共に利用者・
家族の高齢化は止まりません。
健康面が大きく左右されることで
しよう。完全に安心して医療を受
けられる等も色々と考える時宜で
あろうかと思えます。

世間も厳しい風が吹きまくってい
ますが今年もご協力の程宜しくお
願い申し上げます。
会員の皆様のご健康とご多幸をお
祈り申し上げます。

新車コースター購入

平成二七年度、施設整備費配分
金として、金参百万円を戴きまし
た。今回、配分金の助成も受け新
車両（トヨタ）コースター26人
乗り”を無事、購入させて頂く事
が出来ました。12月11日に納車さ
れ早速、通所の送迎・利用者様の
外出等、活用させて頂いていま
す。

皆様の温かいご支援により、利用
者の方々が楽しく元気に過ごせま
す事を心より感謝申し上げますと
共に紙上をかりて、共同募金会並
びに募金を戴いた皆様に心より御
礼申し上げます。



神奈川県『共同募金会』より

うぐいす班外出
支援課 稲葉 文彦

11月13日（金）に外出を行って
おります。うぐいす班の外出は雨
が降らないというジンクスがあり、
今回も天候に恵まれ外出日和とな
りました。

今回は、渋沢にあります、銀八
寿司本店にお寿司を食べに行つて
まいりました。魚がとても新鮮で
食事のボリュームもあり、利用者
の方、ご家族の
方、職員も満足
で美味しくいた
だきました。

昼食を食べ終
え、小田原にあ
ります、上府中
公園に向かいま
した。途中ドラ
イブをしながら
外の景色を楽しみました。少々、
肌寒くはありましたが、開放的な
雰囲気の中おやつを食べ、ジュー
スを飲み利用者の方も表情も穏や
かで、楽しむことができました。

参加して下さったご家族の方々、
ご参加ありがとうございました。



かるがも班食事会
支援課 井口 春樹

12月10日にかるがも班食事会へ利用者様・保護者様・職員で出かけました。当日は天候にも恵まれ、雲一つない絶好のお出かけ日和となりました。

学園から車で出発し、保護者様と利用者様とともに楽しめながらハンバーグのお店の『ビッグボーイ』でハンバーグやビーフシチュー・ステーキを、皆様とてもおいしうに召し上がられ楽しく食事の時間を過ごす事が出来ました。その後は、おやつを購入し『伊勢原運動公園』にて、散歩をしてからおやつ休憩を行っております。デザートプリンや、コーヒー・ジュースを召し上がり、皆様、笑顔で大変満足したご様子でした。学園に戻る際ものんびりとドライブを行ないました。個人個人が楽しい時間を過ごせたように思います。次回も皆様を楽しめる企画を立てて行きたいと思いません。



学園内研修
支援課 山口 隼人

今回の三島 卓穂先生(元弘済学園園長)の研修会にて「TEACCHプログラム」という自閉症の方々への治療教育法を中心に学ばせて頂きました。

「TEACCHプログラム」とは絵や写真を使ってこれから何をするのかを示して自閉症スペクトラム障害の性質をコントロールするためのものになります。それだけではなくカレンダーや勤務表など私達の身近にある様々なものにTEACCHが活用されていて私達の生活でかせないものとなっています。障害のある方の特徴の性質は、実はどんな人にもいくらかの割合で含まれているのではないかと感じ、障害のある方ひとりひとりの障害をもっと深く知る事で「人間」について良く知る事ができるのではないかと感じました。今後も三島先生の研修で学んだことを頭に置き、日々の支援に活かしていきたいと思えます。

みかん狩り
支援課 鈴木 滋

やまばと通所センターでは。春秋にグループ外出を行なっています。できるだけ選択肢の多い外出を心掛けていますが、今年初めてみかん狩り班を作り、十二月八日に当学園職員の知り合いである、西村様の畑にお邪魔しました。

グループホームの方でも例年お世話になっている畑で、お伺いすると「これが、やまばとの木ですよ」とわざわざ取っておいて下さった木があり、利用者様、珍しい体験に喜んでみかん狩りを楽しまれました。皆さんにと用意して下さった温かいシチューまでご馳走になり、とても楽しい一日を過ごす事が出来ました。



小ぶりでもとても甘いみかんが沢山とれました

秋のバス旅行
支援課 進藤 恵

10月23日、待ちに待った秋のバス旅行。

あいにくの曇り空で、道中楽しみにしていた富士山も、雲に隠れ一瞬も見ることが出来ませんでした。残念…。

しかし、ホテルマウント富士に向かう途中、紅葉を眼下に山中湖が、くっきりと見え、紅葉と山中湖のコラボが何とも言えず美しく、バスの中で「わくキレイ!!」と、絶賛の声が聞こえてきております。ホテルでは、お楽しみの昼食です。ホテル特製の和食コースメニューでした。前回のバイキングと違った試みで不安はありましたが、皆様の「美味しかった」の声に一安心いたしました。

帰りの車窓でも、相変わらず富士山は顔を見せてはくれませんでした。皆様の笑顔を沢山見ることができ、嬉しい、楽しいバス旅行でした。次回は3月にバス旅行を予定しております。皆様の笑顔が沢山、見れるように企画して行きたいと思えます。



社会福祉法人浄泉会 やまばと学園後援会

- 法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。
- 障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

| | | |
|------|------|---------|
| 法人会員 | 年額1口 | 20,000円 |
| 個人会員 | 年額1口 | 10,000円 |
| 賛助会員 | 年額1口 | 3,000円 |

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担)
どこの郵便局でも 00220-5-14491 です
口座名は 浄泉会やまばと学園後援会
新しく会員になられる方はご住所を電話等
でお知らせ頂こう願致します

やまばと学園内 後援会係担当
〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢 2620-2
Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

浄泉会やまばと学園後援会の会員・賛助会員を募集しています

新年明けましておめでとうござ
います。今年も宜しくお願いた
します。二七年もあつという間に
過ぎ去り新しい二八年を迎えまし

編集後記

やまばと学園

ホームページ
<http://www.kanagawa-id.org/yamabato/>

メールアドレス
yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

た。本年度の浄泉会の目標語は、『実践躬行』です。まず行動するの意。理念や信条を自ら進んで行動に表して行く事。言いかえると利用者様が今、必要としていることを間髪を入れずに整えて満足して戴く事をいいます。この目標語を心して本年1年間も一生懸命、日々精進してまいりたいと思います。

(工藤 淳)

